学校番号	410

令和３年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	四訂版　物理　(数研出版)						
副教材等	四訂版　リードα　物理　(数研出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

演示実験や身近な例の提示による物理現象の感覚的理解。また、それに基づく思考(概念形成・数式による諸物理量の表現など)の論理的理解を目指して指導する。問題演習の機会を多くし、反復学習による基礎知識の定着に重点をおく。また、問題の難易度を段階的に上げてゆき、発展問題に必要な“基礎知識の応用力”をつけてほしい。

２　学習の到達目標

物理学的な事物・現象に対する探究心を高め，
目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，
物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	物理学的な物事・現象に関心や探究心を持ち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に着けている。	物理学的な物事・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な物事・現象に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に着けている。	物理学的な物事･現象に関する､基本的な概念や原理･法則について理解を深め､知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録､発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	様々な運動	平面内の運動と剛体のつり合い				○	a：力と運動に関する概念や原理・法則に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b：力と運動に関する概念や原理・法則を考察し、導き出した考えを表現している。 c：力と運動に関する概念や原理・法則に関する探究活動を行い、その方法を習得するとともに、これらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d：運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方に基づき，力と運動に関する概念や原理・法則について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		運動量				○		
		円運動と単振動	○					
		万有引力		○				
		様々な運動に関する探究活動			○			
2学期	電気と磁気	電気と電流① 電荷/電界/電位				○	a：電気や磁気に関する現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b：電気や磁気に関する現象を考察し、導き出した考えを表現している。 c：電気や磁気に関する現象に関す探究活動を行い、その方法を習得するとともに、これらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d：電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		電気と電流② コンデンサー/電気回路	○					
		電流と磁界①電流による磁界/電流が磁界からうける力				○		
		電流と磁界② 電磁誘導・電磁波		○				
		電気と磁気に関する探究活動			○			
3学期	原子	気体分子の運動		○			a：原子についての基本的な概念や原理・法則に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b：原子についての基本的な概念や原理・法則を考察し、導き出した考えを表現している。 c：電子，原子及び原子核に関する現象に関する探究活動を行い、その方法を習得するとともに、これらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d：地球の環境、日本の環境を理解し，その恩恵や災害などについて理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		電子と光				○		
		原子と原子核				○		
		物理学が築く未来	○					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。